

共生社会の視点から考える

講演会 「地震や豪雨災害などからみえた地域の課題」

～誰にとっても生きやすい社会を求めて～

災害は突然の出来事で建物や生命まで脅かされるばかりか、何の変哲もない日頃つながり合っている人間模様までもが無くなってしまふ現実があります。

受け止めきれないたくさんの現実に関心をもち、心たたび立ち上がるまでには長い時間が必要となりますが、一方で再び人々とのつながりを深めながら地域での生活を構築していくこととなります。

この度、阪神・淡路大震災や東日本大震災、台風・豪雨被害等の被災地において、物資配付や入浴送迎支援、仮設住宅での被災者支援、子どもの遊び場づくり、サロン活動、移動図書館活動などの被災者支援活動、国外では紛争等により混乱している国々の市民に学校建設や図書館設置、絵本を届ける活動などを実践してきた講師から、災害時・復興期の生活者の不安や地域課題等についてお話していただき、今後の日本の共生社会のあり様を考えていきます。

開催日時：令和4年3月15日（火）10時～11時40分

講義形式：オンライン方式（なるべくオンラインでの参加をお願いします）・定員70名（事前申込み先着順）

：会場参加の場合・・・としま区民センター 7階会議室・・・・・・定員30名（事前申込み先着順）
但し、感染状況等により、会場参加を取りやめる場合があります。

講演内容： 共生社会の視点から考える 「地震や豪雨災害などからみえた地域の課題」

～誰にとっても生きやすい社会を求めて～

講師 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

地球市民事業課 課長 市川 斉 氏

《市川氏 紹介》

静岡県出身。1990年に入職。95年1月に起きた阪神・淡路大震災において神戸事務所長。その後、国内外の緊急救援に関わり、2001年に9.11同時多発テロ後のアフガニスタンでの緊急救援事業に従事し、2003～05年よりアフガニスタン事務所長。事務局次長、常務理事、ミャンマー事務所長を経て、21年11月より現職。JPF（ジャパン・フラットフォーム）副代表、国際協力NGOセンター（JANIC）副理事長を歴任。

第16回ヘルシー・ソサエティ賞ボランティア部門（国際）受賞。著書は『ハジバと1000頭のロバ ～震災・神戸からアフガニスタンへ～』（筒井書房）他。

《 申込方法 》 必ずお読みください

裏面に記載のある Google form または FAX からお申込みください。

- ・申込受付された方に後日メールにて受付確認の返信をいたしますので必ずメールアドレスの記入をお願いします。
- ・申込は先着順で受け付けますので、定員を超えた場合はお断りをいたしますこと、ご承知おきください。
- ・コロナ感染拡大の状況により、急きょ講演会を延期・中止する場合があります。本社協HP等でも告知いたします。
- ・オンラインはZOOMで行いますので、ZOOMを利用できるPC等の環境を整えてください。
- ・申し込み等でわからないことがありましたら、お電話ください。

《問い合わせ》

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会 共生社会推進・事業開発課

☎03-3984-9375

申込締め切り日 3月8日（火）
ただし、締め切り日以前に満員になる場合もあります。

主催 社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会

ファックスからの申込み・送信先

豊島区民社会福祉協議会 共生社会推進・事業開発課

FAX 番号 3981-2946

《講演会「地震や豪雨災害などからみえた地域の課題」》参加申込票

日時: 令和4年3月15日(火)開催

ふりがな		年 齢
氏 名		歳
住 所		
連絡先	(電話)	(F A X)
E-Mail	※PCからのメールを受信できるように設定をお願いいたします @	
参加形態	<input type="checkbox"/> オンライン (ZoomのURLは後日上記メールアドレスへお送りします) <input type="checkbox"/> 会場 (感染状況により会場での参加は中止とさせていただく場合もあります。)	
備考	手話通訳 <input type="checkbox"/> 必要	

当日会場案内図



Google form からの申込みの場合、
下記二次元コードから申込みできます



Google form
を活用しております

パソコンから申込みをする場合は、本社協 HP に
ある Google form のリンクから申込みください



豊島区民協キャラクター
ふくみん ふくじい